

技報堂全書 57

土の締固め

—主として道路土工に関連して—

久野悟郎著 技報堂刊

現在の土木技術における最大の特徴は何と云っても施工の迅速化であろう。戦前における施工速度と現在のそれを比較するとまことにめざましい変化である。ところで眼を道路に転ずるとここでも同様の変化が行なわれているが、いわゆる高速自動車道路の建設はドイツで 1930 年代に始まっている。この建設に当って盛土を行なった直後に舗装を行なう必要上、締固めの必要性が痛感されて組織的な締固め工法の研究が始まっている。また Proctor は 1933 年に締固め試験法を考えたが、これより前 1920 年代の後期に路面の破壊の原因が舗装のみでなく土の性質にも非常に影響されることが判明して来たので、道路における土の存在が大きく浮び上っていた頃である。土の性質改善に締固めは古来慣用されていたものであろうが、これを合理的な根拠で行なうようになって来た所に意味がある。しかしその本質は非常に複雑なものと思われ、現在でも不明の部分が多いが、実際にはなんらかの形で現在までの研究成果を採り入れて行かねばならない要求があり、現場技術者としてはそのための指針を得るのに大変な苦勞をされているものと思われ

る。

今回出版された本書は土の締固めを、試験方法、締固めた土の性質、施工機械とその締固め特性、施工法、施工管理にわたって述べている。著者は長年締固めに関する研究を行なって、さらに道路における多くの例を経験されているので、現在の締固めの基礎概念から施工に対する応用方法に致るまで詳細に述べられている。土を対象とする工事は締固めを要するものが非常に多いから、著者が特に“道路土工に関連して”とは断っておられるが、あらゆる分野に応用が可能であろう。しかし締固め土の透水性はほとんど省略しておられるので、アースダム等の場合に多少不足を感じずることは惜しまれる。

現在この種の類書は少ないので、土工に係る技術者への非常によい参考書となることを期待している。

著者：正員 工博 建設省土木研究所土質研究室長

体裁：B 6 判 320 ページ 定価 650 円 1963.3.1 刊

技報堂：東京都赤坂溜池 5 振替東京 10 番

電話 (481) 8581~5

【東京大学 渡辺 隆・記】

土の締固め

—主として道路土工に関連して—

技報堂全書57

工学博士 久野悟郎著

建設省土木研究所千葉支所土質研究室長

B 6 判 320頁 定価 650円

土の締固めという技術は道路に関してあるのみではなく、もちろん本家であるアースダムはじめ河川堤防、鉄道、飛行場などあらゆる土の構造物の築造に必要なものである。本書は主として道路盛土に関する事項が多くなっているが、試験法に関する部分は共通的なものなので、今迄のように多くの本を調べる手数が省けると共に、すぐ役立つ好書として推薦できる書。

コンクリート橋

工博 横道英雄著

B 5 判・定価 2,500円

道路工学

片平信貴著

B 5 判・定価 1,800円

図書目録送呈

東京都港区赤坂溜池 5 振替東京10 Tel. 481—8581

技報堂